

5.2 イノベーション人材養成機構(IIDP)開講科目の履修について

博士後期課程学生は、修了までに自身のキャリアパスに応じて、表1または表2に示すキャリア能力(Graduate Attributes=GA)を修得する必要がある。これらのGAを修得するための科目として、各専攻が開講するものの他に、以下に示すIIDP開講科目(大学院キャリア科目、学部科目、専攻で開設する科目)が用意されている。各専攻の修了要件にしたがって適切に履修すること。

その際、自らのキャリアプランを明確に描くことを目的としたGA(表1、2のA0DまたはP0D)を他のGAに優先して修得することを推奨する。

なお、修士課程学生は、以下の※印(博士後期課程向け)科目を除く科目を履修することができる。

表 A1 アカデミックリーダー教育院(ALP)所属学生に求められる Graduate Attributes

A0D: 自らのキャリアプランを明確に描き、アカデミアの分野でその実現に必要な能力を自己修習できる

A1D: 現象の本質を見極め、学問の奥義を究めて、新たな学問領域・研究領域の開拓をリードできる

A2D: 社会における学術の位置づけを理解し、ステークホルダーたる社会の構成員に学術の進展を適切に説明できる

A3D: 教育機関等において、学術に興味を持たせ、新たな学問領域・研究領域の開拓を担う後継を育成できる

表 A2 プロダクティブリーダー教育院(PLP)所属学生に求められる Graduate Attributes

P0D: 自らのキャリアプランを明確に描き、産業界等でその実現に必要な能力を自己修習できる

P1D: 社会のニーズを的確に捉えて課題を見出し、将来の科学技術の発展をリードできる

P2D: 異なる専門性・価値観を有するメンバーからなるチームを率いて、社会に新たな価値を生み出すもの・ことを創造できる

P3D: プロジェクトを通して次世代の社会や産業の発展を担う後継を育成できる

【アカデミックリーダー教育院(ALP)対応科目】

(大学院キャリア科目)

申告番号	授業科目	単位	担当教員	学期	対応する GA				備考
					A0D	A1D	A2D	A3D	
23011	※博士キャリアデザインⅠ S	1-0-0	古田 健二 羽鳥 好律	前学期前半	○				
23012	※博士キャリアデザインⅠ F	1-0-0	未定	後学期前半	○				
23013	※博士キャリアデザインⅡ S	0-1-0	羽鳥 好律 古田 健二	前学期後半	○				
23014	※博士キャリアデザインⅡ F	0-1-0	未定	後学期後半	○				
23015	Doctoral Career DesignⅠ S-E	1-0-0	Yoshinori Hatori 他	前学期	○				
23016	Doctoral Career DesignⅠ F-E	1-0-0	Yoshinori Hatori 他	後学期	○				
23101	※ALP 研修基礎 S1(す)	1-0-0	羽鳥 好律 他	前学期		○			
23102	※ALP 研修基礎 S2(大)	1-0-0	羽鳥 好律 他	前学期		○			
23103	※ALP 研修基礎 F1(す)	1-0-0	羽鳥 好律 他	後学期		○			
23104	※ALP 研修基礎 F2(大)	1-0-0	羽鳥 好律 他	後学期		○			
23105	※ALP 研修Ⅰ S(ティーチング)	0.5-0 -0.5	羽鳥 好律 Todd Tilma	前学期			○	○	
23106	※ALP 研修Ⅰ F(ティーチング)	0.5-0 -0.5	羽鳥 好律 Todd Tilma	後学期			○	○	
23107	※ALP 研修Ⅱ S(海外研修)	0-0-1	羽鳥 好律	前学期			○	○	
23108	※ALP 研修Ⅱ F(海外研修)	0-0-1	羽鳥 好律	後学期			○	○	
23109	※ALP 発展研修 S1	0-0-1	未定	前学期前半		○	○	○	
23110	※ALP 発展研修 S2	0-0-1	未定	前学期後半		○	○	○	
23111	※ALP 発展研修 F1	0-0-1	未定	後学期前半		○	○	○	
23112	※ALP 発展研修 F2	0-0-1	未定	後学期後半		○	○	○	
23017	※Technical Discussion S1	0-1-0	Dan Ricinschi Daniel Berrar Hazel B. Gonzales	前学期前半			○	○	

23018	※Technical Discussion S2	0-1-0	Hazel B. Gonzales Dan Ricinski Daniel Berrar	前学期後半			○	○	
23019	※Technical Writing F1	0-1-0	Daniel Berrar Hazel B. Gonzales Dan Ricinski	後学期前半		○			
23020	※Technical Writing F2	0-1-0	Dan Ricinski Daniel Berrar Hazel B. Gonzales	後学期後半		○			
23005	コミュニケーション戦略論 S	1-0-0	未定	前学期			○	○	休講
23009	コミュニケーション戦略論 F	1-0-0	未定	後学期			○	○	
23021	※Scientific Communication S	1-0-0	Daniel Berrar Hazel B. Gonzales Dan Ricinski	前学期			○	○	
23022	※Critical Thinking F	1-0-0	Dan Ricinski Daniel Berrar Hazel B. Gonzales	後学期			○	○	
23023	※Developing Career Adaptability for Global Competitiveness F	1-0-0	Hazel B. Gonzales Dan Ricinski Daniel Berrar	後学期			○	○	

※: 博士後期課程の学生のみ履修可能

(学部科目)

申告番号	授業科目	単位	担当教員	学期	対応する GA				備考
					A0D	A1D	A2D	A3D	
7705 7702	ミクロ経済学第一・第二	2-0-0					○		注1
7710 7721	マクロ経済学第一・第二	2-0-0					○		注1
7701	非協力ゲーム理論	2-0-0					○		注1
7708	協力ゲーム理論	2-0-0					○		注1

注1:学部開講科目のため、専攻の修了要件に含まれないが、イノベーション人材養成機構の対応する GA の取得には利用できる。

【プロダクティブリーダー教育院(PLP)対応科目】

(大学院キャリア科目)

申告番号	授業科目	単位	担当教員	学期	対応する GA				備考
					P0D	P1D	P2D	P3D	
23011	※博士キャリアデザインⅠ S	1-0-0	古田 健二 羽鳥 好律	前学期前半	○				
23012	※博士キャリアデザインⅠ F	1-0-0	未定	後学期前半	○				
23013	※博士キャリアデザインⅡ S	0-1-0	羽鳥 好律 古田 健二	前学期後半	○				
23014	※博士キャリアデザインⅡ F	0-1-0	未定	後学期後半	○				
23015	Doctoral Career DesignⅠ S-E	1-0-0	Yoshinori Hatori 他	前学期	○				
23016	Doctoral Career DesignⅠ F-E	1-0-0	Yoshinori Hatori 他	後学期	○				
23003	グローバル企業の研究開発 実践論Ⅰ	1-0-0	古田 健二 他	前学期	○	○			
23004	テクノロジーマネジメント実践 論 S	1-0-0	古田 健二	前学期	○	○			
23005	コミュニケーション戦略論 S	1-0-0	未定	前学期			○	○	休講
23007	グローバル企業の研究開発 実践論Ⅱ	1-0-0	古田 健二 他	後学期	○	○			
23008	テクノロジーマネジメント実践 論 F	1-0-0	古田 健二	後学期	○	○			
23009	コミュニケーション戦略論 F	1-0-0	未定	後学期			○	○	
23017	※Technical Discussion S1	0-1-0	Dan Ricinschi Daniel Berrar Hazel B. Gonzales	前学期前半			○	○	
23018	※Technical Discussion S2	0-1-0	Hazel B. Gonzales Dan Ricinschi Daniel Berrar	前学期後半			○	○	
23019	※Technical Writing F1	0-1-0	Daniel Berrar Hazel B. Gonzales Dan Ricinschi	後学期前半		○			
23020	※Technical Writing F2	0-1-0	Dan Ricinschi Daniel Berrar Hazel B. Gonzales	後学期後半		○			

23021	※Scientific Communication S	1-0-0	Daniel Berrar Hazel B. Gonzales Dan Ricinschi	前学期			○	○	
23022	※Critical Thinking F	1-0-0	Dan Ricinschi Daniel Berrar Hazel B. Gonzales	後学期			○	○	
23023	※Developing Career Adaptability for Global Competitiveness F	1-0-0	Hazel B. Gonzales Dan Ricinschi Daniel Berrari	後学期			○	○	
※※	※PLP 研修基礎 S1	1-0-0		前学期前半		○			
23203	※PLP 研修基礎 S2(大)	1-0-0	古田 健二 他	前学期後半		○			
※※	※PLP 研修基礎 F1	1-0-0		後学期前半		○			
23204	※PLP 研修基礎 F2(す)	1-0-0	古田 健二 他	後学期後半		○			
23201	※PLP 研修 S	0-0-1	古田健二	前学期			○	○	
23202	※PLP 研修 F	0-0-1	古田 健二	後学期			○	○	
※※	※PLP 発展研修 S1	0-1-0		前学期前半		○	○	○	
23208	※PLP 発展研修 S2	0-1-0	古田 健二 他	前学期後半		○	○	○	
※※	※PLP 発展研修 F1	0-1-0		後学期前半		○	○	○	
23210	※PLP 発展研修 F2	0-1-0	古田 健二 他	後学期後半		○	○	○	

※:博士後期課程の学生のみ履修可能

※※:平成 28 年度以降開講予定

(学部科目)

申告番号	授業科目	単位	担当教員	学期	対応する GA				備考
					P0D	P1D	P2D	P3D	
7705 7702	ミクロ経済学第一・第二	2-0-0				○			注1
7710 7721	マクロ経済学第一・第二	2-0-0				○			注1
7701	非協力ゲーム理論	2-0-0				○			注1
7708	協力ゲーム理論	2-0-0				○			注1

注1:学部開講科目のため、専攻の修了要件に含まれないが、イノベーション人材養成機構の対応するGAの取得には利用できる。

(専攻で開設する科目)

申告番号	授業科目	単位	担当教員	学期	対応する GA				備考
					P0D	P1D	P2D	P3D	
	※技術経営専攻 技術経営戦略科目群					○			注2, 注3
	※技術経営専攻 知的財産科目群					○			注2, 注3
	※技術経営専攻 ファイナンス科目群					○			注2, 注3
	※技術経営専攻 情報・サービスイノベーション科目群					○			注2, 注3

注2:履修可能人数に制約がある場合がある。詳細は技術経営専攻の学習案内を参照のこと。

注3:これらの授業科目の科目区分については、所属する専攻の学習案内を参照のこと。

Graduate Attributes と科目の対応表

Graduate Attributesと科目の対応表				
アカデミックリーダー教育院				
A0D: 自らのキャリアプランを明確に描き、アカデミアの分野でその実現に必要な能力を自己修習できる	A1D: 現象の本質を見極め、学問の奥義を究めて、新たな学問領域・研究領域の開拓をリードできる	A2D: 社会における学術の位置づけを理解し、ステークホルダーたる社会の構成員に学術の進展を適切に説明できる	A3D: 教育機関等において、学術に興味を持たせ、新たな学問領域・研究領域の開拓を担う後継を育成できる	
博士キャリアデザインⅠ S 博士キャリアデザインⅠ F 博士キャリアデザインⅡ S 博士キャリアデザインⅡ F Doctoral Career DesignⅠ S-E Doctoral Career DesignⅠ F-E	ALP研修基礎S1(す) ALP研修基礎S2(大) ALP研修基礎F1(す) ALP研修基礎F2(大) ALP発展研修S1 ALP発展研修S2 ALP発展研修F1 ALP発展研修F2 Technical Writing F1 Technical Writing F2	ALP研修Ⅰ S(ティーチング) ALP研修Ⅰ F(ティーチング) ALP研修Ⅱ S(海外研修) ALP研修Ⅱ F(海外研修) ALP発展研修S1 ALP発展研修S2 ALP発展研修F1 ALP発展研修F2 Technical Discussion S1 Technical Discussion S2 Scientific Communication S Critical Thinking F Developing Career Adaptability for Global-Competitiveness F コミュニケーション戦略論S コミュニケーション戦略論F ミクロ経済学第一・第二(注1) マクロ経済学第一・第二(注1) 非協力ゲーム理論(注1) 協力ゲーム理論(注1)	ALP研修Ⅰ S(ティーチング) ALP研修Ⅰ F(ティーチング) ALP研修Ⅱ S(海外研修) ALP研修Ⅱ F(海外研修) ALP発展研修S1 ALP発展研修S2 ALP発展研修F1 ALP発展研修F2 Technical Discussion S1 Technical Discussion S2 Scientific Communication S Critical Thinking F Developing Career Adaptability for Global-Competitiveness F コミュニケーション戦略論S コミュニケーション戦略論F	
プロダクティブリーダー教育院				
P0D: 自らのキャリアプランを明確に描き、産業界等でその実現に必要な能力を自己修習できる	P1D: 社会のニーズを的確に捉えて課題を見出し、将来の科学技術の発展をリードできる	P2D: 異なる専門性・価値観を有するメンバーからなるチームを率いて、社会に新たな価値を生み出すもの・ことを創造できる	P3D: プロジェクトを通して次世代の社会や産業の発展を担う後継を育成できる	
博士キャリアデザインⅠ S 博士キャリアデザインⅠ F 博士キャリアデザインⅡ S 博士キャリアデザインⅡ F Doctoral Career DesignⅠ S-E Doctoral Career DesignⅠ F-E グローバル企業の研究開発実践論Ⅰ グローバル企業の研究開発実践論Ⅱ テクノロジーマネジメント実践論S テクノロジーマネジメント実践論F	グローバル企業の研究開発実践論Ⅰ グローバル企業の研究開発実践論Ⅱ テクノロジーマネジメント実践論S テクノロジーマネジメント実践論F PLP研修基礎S2 PLP研修基礎F2 PLP発展研修S2 PLP発展研修F2 Technical Writing F1 Technical Writing F2 ミクロ経済学第一・第二(注1) マクロ経済学第一・第二(注1) 非協力ゲーム理論(注1) 協力ゲーム理論(注1) 技術経営専攻: 技術経営戦略科目群(注2) 技術経営専攻: 知的財産科目群(注2) 技術経営専攻: ファイナンス科目群(注2) 技術経営専攻: 情報・サービスイノベーション科目群(注2)	コミュニケーション戦略論S コミュニケーション戦略論F PLP研修S PLP研修F PLP発展研修S2 PLP発展研修F2 Technical Discussion S1 Technical Discussion S2 Scientific Communication S Critical Thinking F Developing Career Adaptability for Global-Competitiveness F	コミュニケーション戦略論S コミュニケーション戦略論F PLP研修S PLP研修F PLP発展研修S2 PLP発展研修F2 Technical Discussion S1 Technical Discussion S2 Scientific Communication S Critical Thinking F Developing Career Adaptability for Global-Competitiveness F	
(注1) 学部開講科目のため、専攻の修了要件に含まれないが、イノベーション人材養成機構の対応するGAの取得には利用できる。 (注2) 履修可能人数に制約がある場合がある。詳細は技術経営専攻の学習案内を参照のこと。				

[教 授 要 目]

23011 博士キャリアデザインⅠS (Doctoral Career Design I S)

23012 博士キャリアデザインⅠF (Doctoral Career Design I F)

S:前学期 1-0-0 古田健二(特任教授)、羽鳥好律(特命教授) ※大岡山/すずかけ開講

F:後学期 1-0-0 未定 ※大岡山/すずかけ開講

博士人材が自身のキャリア、人生を考えるという視点から、東工大博士後期課程学生として直面するキャリア選択場面を想定し、個人の社会的・職業的自立に必要な「キャリア観」養成のための思考トレーニングである。キャリアとは就職だけに限らず、アカデミアや海外での活躍の道も含まれ、進路を選ぶ上での重要な意思決定のスケジュール観などを認識することが重要である。自分の希望だけでなく、受入れる企業やアカデミアからの、高度研究人材として期待されるコンピテンシー(高い成果達成行動特性・能力)を理解し、認識することで、現実的な進路選択とその実現を目指す。

また、本科目はこの後に続くアカデミックリーダー教育院科目(ALP 研修基礎、ALP 研修Ⅰ、ALP 研修Ⅱ、ALP 発展研修)及びプロダクティブリーダー教育院科目(PLP 研修基礎、PLP 研修Ⅰ、ALP 研修Ⅱ、ALP 発展研修)の基礎をなすものである。これらの科目を履修する予定のある学生の履修を推奨する。

【到達目標】:現実的なキャリア観を養成することで、適切な進路選択が出来る実践能力を身に着ける。

23013 博士キャリアデザインⅡS (Doctoral Career Design II S)

23014 博士キャリアデザインⅡF (Doctoral Career Design II F)

S:前学期 0-1-0 羽鳥好律(特命教授)、古田健二(特任教授) ※大岡山/すずかけ開講

F:後学期 0-1-0 未定 ※大岡山/すずかけ開講

博士人材が自身のキャリア・人生を決めるため、進路を問わずその実現に必要な対応スキルの基礎を作る。企業就職はもちろん、アカデミアの進路を考える博士学生であっても、就職活動のプロセスを理解し、キャリア決定のスケジュールに基づくスキル養成や必要情報が何かを理解する。

就職を考える博士後期課程学生の場合、学位のタイミングも見据えてのスケジューリングや、エントリーの時期等を決めるための知識を涵養する。単なる就活ノウハウの講習でも、キャリア心理学の講義でもない、東工大生のキャリアデザインに特化した実践性を重視する。

【到達目標】

キャリア実現、特に産業界に進むための基本的な枠組み理解。そのための基本スキルの認識と習得。

23003 グローバル企業の研究開発実践論Ⅰ (R&D Activities of Global Companies I)

前学期 1-0-0 古田健二(特任教授) ※大岡山開講

本コースは欧米外資系企業を中心として、グローバルな活動をしている企業における研究開発活動の概要、業界・地域などの特徴、その背景にある考え方、価値観、行動様式、研究員に求められる資質について講義し、グローバルな舞台での活躍を志向する学生に、キャリアパス選択の指針になるような情報を提供することを目指している。

具体的な進め方は、各種業界の日・米・欧系企業において実務経験を有する講師による講義をオムニバス形式で進める。産業分野としては、総合・機能性化学、自動車、製薬、電機・情報・通信、精密機器、エネルギーなど多様な業界を想定している。

IとIIは対象企業の属する業種の違いである。Iは前学期に大岡山で実施し、電子・電気、機械、情報系企業群が対象である。したがってI、IIの両科目を履修することは可能である。

講義内容は理論ではなく実態の紹介が中心となるので、特別に事前準備は必要としないが、将来グローバルな視点で活躍したいという意欲が重要である。

評価は講義の出席、毎回の講義に対する課題レポートの提出状況など。

23007 グローバル企業の研究開発実践論 II (R&D Activities of Global Companies II)

後学期 1-0-0 古田健二(特任教授) ※すずかけ台開講

本コースは欧米外資系企業を中心として、グローバルな活動をしている企業における研究開発活動の概要、業界・地域などの特徴、その背景にある考え方、価値観、行動様式、研究員に求められる資質について講義し、グローバルな舞台での活躍を志向する学生に、キャリアパス選択の指針になるような情報を提供することを目指している。

具体的な進め方は、各種業界の日・米・欧系企業において実務経験を有する講師による講義をオムニバス形式で進める。産業分野としては、総合・機能性化学、自動車、製薬、電機・情報・通信、精密機器、エネルギーなど多様な業界を想定している。

IとIIは対象企業の属する業種の違いである。IIは後期にすずかけ台で実施し、化学、材料、生命系の企業群が対象である。したがってI、IIの両科目を履修することは可能である。

講義内容は理論ではなく実態の紹介が中心となるので、特別に事前準備は必要としないが、将来グローバルな視点で活躍したいという意欲が重要である。

評価は講義の出席、毎回の講義に対する課題レポートの提出状況など。

23004 テクノロジーマネジメント実践論 S (Technology Management Practice S)

23008 テクノロジーマネジメント実践論 F (Technology Management Practice F)

S:前学期 1-0-0 古田健二(特任教授) ※すずかけ台開講

F:後学期 1-0-0 古田健二(特任教授) ※大岡山開講

本コースは、学との連携も意識しながら、産業界における価値創造へ向けての技術の活用のあり方およびその実践へ向けての具体的な取り組みなどについて考えるものである。多くの日本企業において従来から行われている研究開発マネジメントという視点との違いを意識しながら、日本企業再生へ向けて、技術そのものの開発という視点から、技術の有効性を活用することにより、いかに価値を創造するかというグローバルスタンダードな技術への取り組みを理解する機会を提供することを目指している。

具体的には、マクロ、ミクロな幅広い視点から戦略のみならず実際の開発マネジメントのポイントとなる各種の仕組み・制度、組織体制および技術資源および人的資源のマネジメントなど幅広い問題に対して多くの事例を参考にしながら展開する。

- ・ 受講に際しては特別な準備および予備知見は必要ないが、将来イノベーションの主体として活躍したいという意欲の持ち主に受講していただきたい。
- ・ 前期には「テクノロジーマネジメント実践論 S」、後期には同趣旨の講義「テクノロジーマネジメント実践論 F」を開講しているので、どちらかを選択すればよい。なお重複して単位を取得することはできない。

評価は出席状況、期末の課題レポート提出状況などを参考にする。

23005 コミュニケーション戦略論 S (Strategic Communication S) ※平成 27 年度は休講

23009 コミュニケーション戦略論 F (Strategic Communication F)

S:前学期 1-0-0 未定 ※すずかけ台開講

F:後学期 1-0-0 未定 ※大岡山開講

・コミュニケーションそのものという漠然とした存在ではなく、コミュニケーションによって実現したい、真の目的の設定、明確化、その実現への道のりという戦略的な構造を理解し、ロジカルで実践的講義と実習を交え、体験型トレーニングの場とする。

・「コミュニケーション」とは何か、テクニカルな技術面とその構造を理解することで、「実践力」を習得するよう図る。

・対人・対面ロールプレー、メール、プレゼン等を実習を通じて構造理解を促す。

・「戦略観」「戦略思考」を重視した「考え方」のトレーニングとなっている。

・ただし「コミュニケーション戦略論 S」と「同 F」は重複して履修することはできない。

【講義内容】(予定)

1. コミュニケーション構造 組織で求められるコミュニケーション等、戦略観と構造理解
2. 傾聴スキルトレーニング コミュニケーション技法としての積極的傾聴法の習得
3. 組織内コミュニケーション演習 グループワークとアイディエーション、プレゼンテーション
4. プレゼンテーション技術 研究発表、ポスター発表等のプレゼンテーション技術
5. 戦略思考・ロジカル・クリティカル・シンキング 戦略発想とは
6. コミュニケーション戦略 戦略的コミュニケーションの実践

23015 Doctoral Career Design I S-E (博士キャリアデザイン I S-E)

23016 Doctoral Career Design I F-E (博士キャリアデザイン I F-E)

I S-E:前学期 1-0-0 羽鳥 好律(特命教授), Daniel Berrar(特任准教授), Hazel B. Gonzales(特任准教授), Dan Ricinschi(特任准教授) 英語開講

I F-E:後学期 1-0-0 羽鳥 好律(特命教授), Daniel Berrar(特任准教授), Hazel B. Gonzales(特任准教授), Dan Ricinschi(特任准教授) 英語開講

/Outline of Lecture/

As a training course of the Academic Leaders Program (ALP) primarily targeted at D1 and D2 students, these lectures will cover career design strategies for future scientists and professionals working either in academia or industry. The prospects of an international career will be discussed based on some particularities of the work and research environments in different countries, and suggestions will be given about practical ways of starting on this career path.

アカデミックリーダー教育院及びプロダクティブリーダー教育院の授業科目として、近時の博士学位取得者をとり巻く環境変化および科学研究のパラダイム変化に対応しながら、アカデミア或いは産業界において「成功した科学者・技術者としての将来」を築くためのキャリアデザイン戦略を講義する。講義者達の異なる国々および日本での研究や就業の経験を基に、国際的なキャリア展開の展望と必要性、実用的なスタートアップスキルを紹介する。主として D1, D2 を対象とした講義である。

/Purpose of Lecture/

The goal of this intensive lecture series is to provide the students an overview of new trends in science and technology and the related career perspectives, specifically in a global environment. Students will learn how to explore prospective career paths, how to develop professional networking skills, and how to cope with challenges in the workplace. With a focus on international career development, the lectures will provide useful tips for

students planning to pursue research at an overseas institute as well as at R&D departments of private companies and in academia.

聴講者は、将来のキャリアパスを探る方策、良好な他社との関係開発、職場での課題に対処する方法等についての一般的知識を与えられる。更に、個性と専門性を育成するためのコミュニケーションと対人能力の向上に関するいくつかのトピックをカバーする。また、聴講者がグローバルなキャリアへの挑戦の機会を検討し、国境を越えたキャリアを志向するために必要となる情報の提供を目指す。

・ただし、「博士キャリアデザイン I S-E」と「同 I-F-E」は重複して履修することはできない。

23101 ALP 研修基礎 S1(す) (ALP Introduction S1 at Suzukake-dai campus)

23102 ALP 研修基礎 S2(大) (ALP Introduction S2 at O-okayama campus)

23103 ALP 研修基礎 F1(す) (ALP Introduction F1 at Suzukake-dai campus)

23104 ALP 研修基礎 F2(大) (ALP Introduction F2 at O-okayama campus)

S1(す):前学期前半 1-0-0※すずかけ開講, S2(大):前学期後半 1-0-0※大岡山開講

F1(す):後学期後半 1-0-0※すずかけ開講, F2(大):前学期後半 1-0-0※大岡山開講

* 榎 敏明(JST プログラム主管), Daniel Berrar(特任准教授), Hazel B. Gonzales(特任准教授), Dan Ricinschi(特任准教授), 豆塚 廣章(特任教授), 下田 隆二(教授), 植松 友彦(教授), 羽鳥 好律(特命教授)他

日本語 (一部英語)

/Outline of Lecture/

As a training course of the Academic Leaders Program (ALP) primarily directed at D1 and D2 students, participants will learn best practices for the creation and implementation of teaching materials and methods through class work and TA training. Participants will also be given an introduction to the Preparing Future Faculty (PFP) training program. Lastly, in order to improve participant's ability to teach in English, participation in model English lectures will be offered.

アカデミックリーダー教育院の研修科目として、TA 実習を通じて授業の実施方法や教材等の作成に関わる知識を学び、Preparing Future Faculty (PFP) 研修の導入部とする。併せて、英語による教育能力の向上に資するために、英語模擬講義を受講する。主として D1, D2 を対象とする。

/Purpose of Lecture/

For graduate students, on the basis of educational considerations, to learn about teaching best practices.

Specifically, general guidance and discussions on the Code of Ethics for TAs, tutors, and other teachers, as well as, as part of the PFP preparatory education for future faculty, methods to increase teaching proficiency in English.

大学院学生に対し、教育的配慮のもとに、学部学生に対するチュータリングや実験、演習等の教育補助業務 (TA) の実習研修を行うとともに、トレーニングの機会を有効に活用するためのガイダンスと倫理規定等についての一般的知識を与える。さらに、将来の大学教員養成のための PFP 準備教育の一環として、英語による講義の構成と教授法に係るリテラシーを身につける。

・ただし、「ALP 研修基礎 S1(す)」と「同 S2(大)」 「同 F1(す)」 「同 F2(大)」は重複して履修することはできない。

23105 ALP 研修 S I (ティーチング) (ALP Practice S I (Teaching practice))

23106 ALP 研修 F I (ティーチング) (ALP Practice F I (Teaching practice))

I S(TA):前学期 0.5-0-0.5 羽鳥 好律(特命教授), Todd Tilma(特任准教授)

英語(一部日本語)

I F(TA):後学期 0.5-0-0.5 羽鳥 好律(特命教授), Todd Tilma(特任准教授)

英語(一部日本語)

/Outline of Lecture/

As a training course of the Academic Leaders Program (ALP) primarily directed at D1 and D2 students, participants will learn best practices for the creation and implementation of teaching materials and methods through class work and TA training. Participants will also be given an introduction to the Preparing Future Faculty (PFP) training program. Lastly, in order to improve participant's ability to teach in English, participation in model English lectures will be offered.

アカデミックリーダー教育院の研修科目として、TA 実習を通じて授業の実施方法や教材等の作成に関する知識を学び、Preparing Future Faculty (PFP) 研修の導入部とする。併せて、英語による教育能力の向上に資するために、英語模擬講義を受講する。主として D1, D2 を対象とする。学部(1年生向け基礎科目を含む)・修士向けの実験、実習、演習科目。

/Purpose of Lecture/

For graduate students, on the basis of educational considerations, to learn about teaching best practices. Specifically, general guidance and discussions on the Code of Ethics for TAs, tutors, and other teachers, as well as, as part of the PFP preparatory education for future faculty, methods to increase teaching proficiency in English.

大学院学生に対し、教育的配慮のもとに、学部学生に対するチュータリングや実験、演習等の教育補助業務(TA)の実習研修を行うとともに、トレーニングの機会を有効に活用するためのガイダンスと倫理規定等についての一般的知識を与える。さらに、将来の大学教員養成のための PFP 準備教育の一環として、英語による講義の構成と教授法に係るリテラシーを身につける。

・ただし、「ALP 研修 I S(ティーチング)」と「同 I F(ティーチング)」は重複して履修することはできない。

23107 ALP 研修 II S(海外研修) (ALP Practice II S (Overseas training))

23108 ALP 研修 II F(海外研修) (ALP Practice II F (Overseas training))

II S(海外研修):前学期 0-0-1 羽鳥 好律(特命教授) 英語

II F(海外研修):後学期 0-0-1 羽鳥 好律(特命教授) 英語

・博士後期学生が、指導教員の指導のもと、国外の大学・研究機関等で、国際共同研究等を原則として2週間以上の海外研修を行うことで、研究の国際化を実践的に習得してキャリア育成を図ることを目的とする。海外渡航経費補助有り。

・ただし、「ALP 研修 II S(海外研修)」と「同 II F(海外研修)」は重複して履修することはできない。

23109 ALP 発展研修 S1 (ALP Advanced Practice S1)

前学期前半 0-0-1 未定 日本語

・ただし、「ALP 発展研修 S1」と「同 S2」「同 F1」「同 F2」は重複して履修することはできない。

23110 ALP 発展研修 S2 (ALP Advanced Practice S2)

前学期後半 0-0-1 未定 日本語

・ただし、「ALP 発展研修 S2」と「同 S1」「同 F1」「同 F2」は重複して履修することはできない。

23111 ALP 発展研修 F1 (ALP Advanced Practice F1)

後学期前半 0-0-1 未定 日本語

・ただし、「ALP 発展研修 F1」と「同 S1」「同 S2」「同 F2」は重複して履修することはできない。

23112 ALP 発展研修 F2 (ALP Advanced Practice F2)

後学期後半 0-0-1 未定 日本語

・ただし、「ALP 発展研修 F2」と「同 S1」「同 S2」「同 F1」は重複して履修することはできない。

23017 Technical Discussion S1 (テクニカルディスカッション S1)

Spring semester 0-1-0 Dan Ricinschi(特任准教授), Daniel Berrar(特任准教授), Hazel B. Gonzales(特任准教授) 英語開講

- IIDP コースに所属する学生を対象として、英語による実践的なディスカッション演習を通して、国際的な場で第一線の研究者として活躍するために必要な技量を習得する。
- ただし、「Technical Discussion S1」と「同 S2」は重複して履修することはできない。

23018 Technical Discussion S2 (テクニカルディスカッション S2)

Spring semester 0-1-0 Hazel B. Gonzales(特任准教授), Dan Ricinschi(特任准教授), Daniel Berrar(特任准教授) 英語開講

- IIDP コースに所属する学生を対象として、英語による実践的なディスカッション演習を通して、国際的な場で第一線の研究者として活躍するために必要な技量を習得する。
- ただし、「Technical Discussion S2」と「同 S1」は重複して履修することはできない。

23019 Technical Writing F1 (テクニカルライティング F1)

Autumn semester 0-1-0 Daniel Berrar(特任准教授), Hazel B. Gonzales(特任准教授), Dan Ricinschi(特任准教授) 英語開講

- This is an intensive course on the fundamentals of scientific writing English. The goal of this course is to equip the students with the elementary skills needed for effective scientific writing. This class covers the essential aspects of how to write and publish a paper in an Academic journal.
- IIDP コースに所属する学生を対象として、国際的な場で第一線の研究者となるために必要な、英語による科学技術論文、報告書の書き方等、実践的なライティングスキルの基礎及を習得する。
- ただし、「Technical Writing F1」と「同 F2」は重複して履修することはできない。

23020 Technical Writing F2 (テクニカルライティング F2)

Autumn semester 0-1-0 Dan Ricinschi(特任准教授), Daniel Berrar(特任准教授), Hazel B. Gonzales(特任准教授) 英語開講

- This is an intensive course on the fundamentals of scientific writing English. The goal of this course is to equip the students with the elementary skills needed for effective scientific writing. This class covers the essential aspects of how to write and publish a paper in an Academic journal.
- IIDP コースに所属する学生を対象として、国際的な場で第一線の研究者となるために必要な、英語による科学技術論文、報告書の書き方等、実践的なライティングスキルの基礎及を習得する。
- ただし、「Technical Writing F2」と「同 F1」は重複して履修することはできない。

23021 Scientific Communication S(サイエンティフィックコミュニケーション S)

Spring semester 1-0-0 Dan Ricinschi(特任准教授), Daniel Berrar(特任准教授), Hazel B. Gonzales(特任准教授) 英語開講

- This course covers topics of scientific oral and written communication in English. The course objective is to develop and refine the students' skills that are required for scientific publications and oral presentations. The main topics include (i) how to write and publish a scientific paper and (ii) how to give academic presentations at international conferences. The course objectives will be met through lectures and practice in writing exercises, oral presentations, and classroom discussions.

23022 Critical Thinking F (クリティカルシンキング F)

Autumn semester 1-0-0 Daniel Berrar(特任准教授), Hazel B. Gonzales(特任准教授), Dan Ricinschi(特任准教授) 英語開講

•The course aims to demonstrate the importance of thinking critically about the various issues in science and technology that students are likely to encounter during their future careers. Students will learn to ask the right questions when confronted with their peers' ideas and opinions, as well as to quickly find ambiguities, lack of evidence, weaknesses in argumentation, contradictions, and omissions in both written and oral communications. The course includes a discussion of the various approaches to the scientific inquiry, such as induction, deduction, and abduction, and logical fallacies. In addition to regular lectures, the course will have an important interactive component where students will practice constructive criticism on written/oral communications chosen by the instructor. The ultimate goal of this course will be to help students to improve the logical soundness of their own argumentations.

23023 Developing Career Adaptability for Global Competitiveness F (グローバル志向のキャリア開発 F)

Autumn semester 1-0-0 Hazel B. Gonzales(特任准教授), Dan Ricinschi(特任准教授), Daniel Berrar(特任准教授) 英語開講

•In this course, students are introduced to the typical and exceptional challenges arising in a workplace out of their comfort zone and they are consequently trained to cope with these circumstances. Several in-class activities will be done to urge students to demonstrate and enhance their adaptive skills. These activities are expected to foster new strategies and ideas that will help students be prepared to face the global environment. Lectures on global competitiveness will be done to further expose students to the increasing workplace diversity and the inevitability of the heightening international competition. At the end of the course, students are expected to have broadened their work perspective and have developed their work attitude as they plan their respective career paths.

23203 PLP 研修基礎 S2(大) (PLP Introduction S2 at O-okayama campus)

23204 PLP 研修基礎 F2(す) (PLP Introduction F2 at Suzukake-dai campus)

S2(大):前学期 1-0-0 古田健二(特任教授) ※大岡山開講

F2(す):後学期 1-0-0 古田健二(特任教授) ※すずかけ台開講

講義は、知財マネジメントを軸に、事業や研究開発に対する考え方など、企業における研究開発活動に従事する者としての基本を考えるものである。そのために知っておくべき研究開発活動の概略と知財制度の基礎的事項についても事例を含めて解説する。また技術者倫理についても事例を活用し理解を深める。

活気あふれる産業や豊かな社会を目指し、価値の創造(イノベーション)を推進してゆくためには、「事業」「研究開発」「知財」を三位一体のものとして捉え、戦略的考え方をもって展開すること(三位一体戦略)が重要な時代になってきている。本講義は、「知財」を味方につけ「知財」を経営の視点から使いこなすことができる人財を養成することを目指すものである。

同時に倫理的にも世の中に貢献できる技術者となるために必要な基本的な考え方を教授する。

23201 PLP 研修Ⅰ (PLP PracticeⅠ)

23202 PLP 研修Ⅱ (PLP PracticeⅡ)

I :前学期 0-0-1 古田健二(特任教授) ※大岡山/すずかけ開講

II :後学期 0-0-1 古田健二(特任教授) ※大岡山/すずかけ開講

基本的には産業界における中長期のインターンシップである。ただし採用・就職目的の企業体験のための短期インターンシップとは異なり、企業内において主として研究開発活動の一部を受け入れ企業の社員と分担し実体験するものである。

将来産業界での活躍を指向する学生に対して、実際の企業活動における活動を実体験することにより、自身のキャリアとしての適性の確認、さらには必要能力および不足能力を実感することにより、自己研鑽の参考とするものがある。

【内容】

- ・期間:2～3 か月を想定
- ・インターンシップ企業の探索:関しては機構としてサポートする。
- ・必要経費:額などは個別調整するが、大学および企業からの支援が受けられる。
- ・受講登録:指導教員と相談の上専攻経由とする。

23208 PLP 発展研修 S2 (PLP Advanced Practice S2)

23210 PLP 発展研修 F2 (PLP Advanced Practice F2)

S2:前学期 0-1-0 古田健二(特任教授)他 ※大岡山/すずかけ開講

F2:後学期 0-1-0 古田健二(特任教授)他 ※大岡山/すずかけ開講

異なる専門領域、バックグラウンドなど多様な背景を有する学生によりチームを構成し、産業界で活躍しているファシリテーターから大枠のテーマをいただき産業界における課題認識の現実を実体験し、その課題に対する具体的検討内容、方法などはファシリテーターのアドバイスを受けながら学生がチームとして検討し、解決策を発案し発表するという PBL 形式の講義とする。ファシリテーターは同一企業のできるだけ多様な部門に属する方にお願ひし、同一企業の中にも部署・立場の違いによる多様な考え方が存在することを理解し、それらの多様な価値観に対する解を検討する必要性があることを経験させる。

本講義は、異なる専門性を有するメンバーで構成するチームで課題解決へ向けて取り組むことによる、産業界における活動の基本であるチームワークを実体験することを目指す。

この際に検討課題のベースを企業派遣のファシリテーターから提供していただき、具体的な検討テーマは学生が設定する。このことにより現実の産業界における課題解決へ向けた取組みにおける課題設定能力の向上も図ることを目指す。